

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 平成17年度給与確定交渉（賃金確定要求書回答交渉）
交渉日時 平成17年12月5日（月） 14時08分～16時16分
交渉場所 職員会館 2階 大会議室
交渉出席者 当局側 平本人事監 乾市長公室長 稲石参事 寺島主幹 宇野主幹
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計16人

概要	要
組合側の主張	<p>宇治市職員労働組合から平成17年11月11日付で提出された「2005年賃金確定要求書」について、別添の「回答書」により回答した。</p> <p>公務災害補償の死亡見舞金については、現行額を改善する方向で検討をしていると理解してよいか。</p> <p>他団体でインフルエンザの予防接種を団体負担で実施しているところがあるが、本市でも雇用主として予防にどのように力を入れていくか、窓口職員等への接種の補助を含め、真剣に検討すべき。</p> <p>女子職員の深夜勤務が発生している職場はどこなのか。また、ノー残業デーの徹底はできているのか。</p> <p>庁舎の分煙により喫煙場所が大きく制約されることになった。寒風の中での喫煙が見られるが、何らかの対策は講じられないか。</p> <p>本庁舎の事務椅子の改善は、自席でパソコン等を使用している現状からも、年次計画で対応というのではなく、破損しているものは一斉に更新すべき。</p> <p>庁舎の4階以上のブラインド設置については、早急に対応すべき。</p> <p>給与問題について、いわゆる前歴是正（経験年数換算）や子育て支援策も重要であるため、当局として再度検討されたい。</p> <p>給与構造の問題については極めて重要な課題であり、労使で十分に協議して進めるということを求めたい。</p> <p>組合としても整理すべきものは整理する。本日の交渉での指摘事項は次回交渉で回答してほしい。</p>
当局の主張	<p>人事当局としては、職員の労働条件や生活を守るのは当然の責務であり、これまでの交渉で課題となっている項目を始め、給与を取り巻く課題については非常に重く受け止めている。</p> <p>しかしながら、今日の非常に厳しい社会経済情勢のなかでは、市民の公務員に対する厳しい目があるのも事実であり、市民や議会のコンセンサスが得られるかどうか重要なポイントとなっているのも確かである。</p> <p>交渉の中で組合員の意見を十分に聞かせてほしいと考えている。</p> <p>公務災害補償の件については、現時点で金額の提示はできないが他市の状況も勘案する中で改善に向け努力したい。</p> <p>インフルエンザの予防接種の件については、他団体の状況等を含めた調査をしながら検討したい。</p> <p>ノー残業デーの時間外勤務は、政策、財務、国勢調査等の部門でみられる。また、女子職員の深夜勤務について、業務の性質上やむを得ない場合があるが、今後とも注意喚起を促したい。</p> <p>喫煙場所の問題については、安全衛生委員会に諮って早急に結論を出したい。</p> <p>事務椅子については、以前の調査結果に基づき、16年度から4年間で400脚を更新する計画で1階から対応しているところである。</p> <p>給与構造の見直しの件については、今後、京都府や他団体の状況を見定めながら協議したい。</p> <p>本日の交渉で回答できていない部分については、早急に調査し対応する。</p>